

講師PROFILE

YUJITAKADA 高田裕士氏

1984年11月3日生 A型 東京都荒川区出身

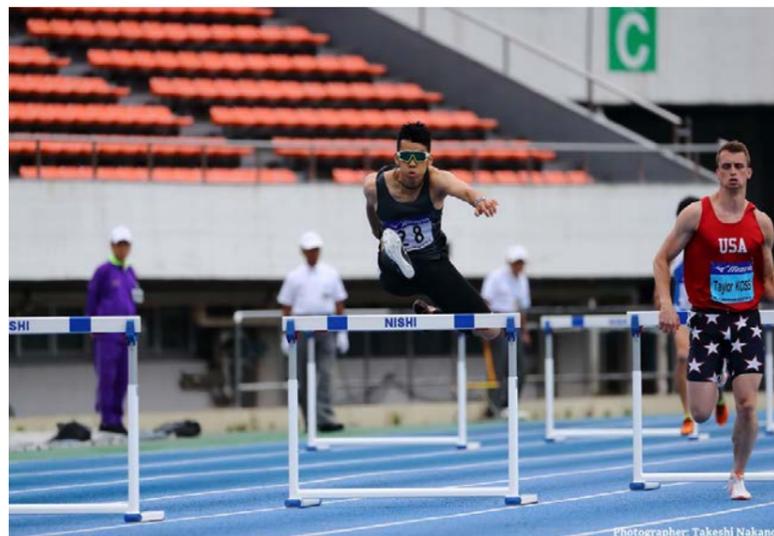
聴覚障害者のオリンピック『デフリンピック/Deaflympics』日本代表。東京都荒川区出身のデフリンピック陸上競技選手で、専門は400mハードル。400mハードルの日本記録保持者。聴覚に障害を持って生まれる。感音性で、最重度の聴覚障害者（両耳の聴力レベルが100dB以上）。横浜国立大学難聴卒業。トレンドマイクロ株式会社所属。高校までは野球部で、横浜国立大学入学後に陸上競技部へ転向。

デフリンピックは2009年台北大会・2013年ソフィア大会・2017年サムスン大会、世界ろう者陸上競技選手権大会は2008年イズミール大会・2012年トロント大会・2016年スタラ・ザゴラ大会といずれも三大会連続で出場している。2020年ラドム大会は新型コロナウイルス感染症の影響で日本選手団派遣中止のため不参加。

国際大会では銀メダルを1個、銅メダルを1個獲得している。

- ・2015年 アジア太平洋ろう者競技大会銀メダリスト。
- ・2012年トロント世界ろう者陸上競技選手権大会銅メダリスト。

デフリンピック日本代表選手としては史上初のプロスポーツ選手として活動しており、競技活動とは別に、メディア出演、イベント出演、講演会、チャリティーイベント、ろう学校部活指導等を通じて、日本国内ではマイナーな聴覚障害者のオリンピック『デフリンピック/Deaflympics』の普及活動にも携わっている。現在は2021年デフリンピックで、世界一のパパ（金メダリスト）に



CHIAKI TAKADA 高田千明氏

1984年10月14日生 B型 東京都大田区

『パラリンピック/Paralympic Games』日本代表。東京都大田区出身のパラリンピック陸上競技選手で、専門は走幅跳と100m。走幅跳と100mの日本記録保持者。パラリンピックにおける障害クラスはT11クラスという視覚障害（全盲）クラス。ほけんの窓口グループ株式会社所属。伴走者・コーラーは、1996年アトランタオリンピック日本代表（4x400mリレー決勝5位入賞・アジア記録保持者）の大森盛一氏。

国際大会では銀メダルを4個、銅メダルを1個獲得している。

- ・2018年 アジアパラ競技大会 走幅跳銀メダリスト。
- ・2017年 世界パラ陸上競技選手権大会 走幅跳銀メダリスト。
- ・2014年 アジアパラ競技大会 走幅跳銀メダリスト。
- ・2011年 IBSA世界大会（※視覚障害者の世界大会）200m 銀メダリスト、100m 銅メダリスト。

出産後も、パラリンピックをはじめとする国際大会においてメダル獲得及び入賞を達成するなど、トップアスリートとして競技活動を継続しており、東京2020パラリンピックで息子の諭樹くんに「世界一のママ」を見せることを目標に、育児と仕事とトレーニングに奮闘するママさんアスリートである。

2016年には「24時間テレビ」「人生が変わる1分間の深イイ話」等に出演しており、全盲のパワフルママさんアスリートとして、注目されている。

